

□ 映画美術スタッフ塾講義作品・概要

『ゴジラ
VS モスラ』
1992年

監督：大河原孝夫
美術：酒井賢

撮影：岸本正広
特殊美術：大澤哲三

特技監督：川北紘一

1945年から1996年まで東宝で怪獣映画や、黒澤明作品など220余作品の製作総指揮をとって来た田中友幸のもと、前作につづき特撮や『ゴジラ』の娯楽性をよく理解している大森一樹のシナリオで大河原監督、川北特技監督が担当。モスラの個性、優しさを重視、「モスラ」が主役。

あらすじ

藤戸拓也（自称「宝物発掘屋」）は国家環境計画局の依頼でインファント島へ調査に向った。観光開発会社・丸友の森林伐採が原因で起きたと思われる土砂崩れ跡に現れた巨大な卵を解謎するためであった。同行者は丸友の社員安東と、拓也の別れた妻で計画局員の手塚雅子。

インファント島に上陸してから三人は様々な苦難をのりこえて卵のところへ辿りついた。そこで身長18センチほどの二人のコスモス（小美人・地球の先住民族）に出会う。三人はコスモスから自分達は地球の先住民族で高度な文明社会を築いていたが1万2千年前、地球の環境破壊を起こし「地球生命」の怒りに触れ滅ぼされたという話を聞く。この巨大な卵はコスモス達の守護神「モスラ」であり、誕生が間近であることと「地球生命」を守る使命を持った「バトラ」との戦いが始まることを告げられる。コスモスは地球との共存を人類に伝えるため拓也たちとモスラの卵と共に日本に向う。その途中隕石の影響で「ゴジラ」が目覚め出現する。ゴジラが卵を攻撃する瞬間、「モスラ」誕生し、ゴジラとモスラの戦いが始まる。モスラが劣勢の時バトラが参戦、バトラはモスラだけを攻撃していたが、ゴジラの攻撃を受けて怒り、ゴジラ対バトラの戦いとなる。海中戦でバトラを引き込んだが海溝に落ちてしまう。コスモスを取り戻すために東京に上陸して国会議事堂に繭を張り成虫に変身したモスラと、富士山の火口から再び現れたゴジラ。成虫に変身したバトラとの三つ巴戦が「横浜みなとみらい21」でクライマックスを迎える。

主要キャスト・スタッフ

キャスト

・藤戸拓也 別所哲也
・手塚雅子 小林聡美
・安東健二 村田雄浩
・三枝未希 小高恵美
・友兼剛志 大竹まこと
・船長 大和田伸也
・コスモス 今村恵子
大沢さやか
・深沢重樹 徳田三郎
・南野文二 宝田明

スタッフ

・監督 大河原孝夫
・脚本 大森一樹
・製作 田中友幸
・撮影 岸本正広
・音楽 伊福部昭
・美術 酒井賢
・照明 望月英樹
・録音 斉藤禎一
・編集 米田美穂

・特技監督 川北紘一
・撮影 江口憲一
・特美 大澤哲三
・照明 斉藤薫
・操演 松本光司
・特殊効果 渡辺忠明